

令和5年度事業報告書

公益社団法人 近畿海事広報協会

当協会は、内閣府の認定を受けた公益社団法人であり、「近畿地区において、海の恩恵を始めとする海事思想の普及宣伝を行い、もって一般国民の海事に関する知識の啓発を図り、あわせて海事産業の発展を期することにより、平和を希求する海洋国家日本の経済社会の維持発展と国民生活の安定向上に寄与すること」を目的としています。

近畿運輸局をはじめ、関係機関・関係諸団体・関係業界各位並びに会員の皆様方のご支援のお陰をもちまして、令和5年度の公益目的事業等を実施することができましたので、その概要をご報告申し上げます。

I、公益目的事業

1、体験活動等(公益目的事業区分4)

(1) 船との出会い事業「海の教室」

四面環海で海からの恵みを受け、国民生活の基盤を海外との貿易・海上輸送に依存しているわが国では、海運・造船・船用工業・港湾・物流などの海事産業の果たすべき役割が極めて重要であり、青少年や一般市民のみなさんに海事産業の重要性を理解してもらい、海に対する関心を高めてもらうことが不可欠です。

特に若い世代の海への理解を深めるとともに教育現場の理解を得るため、公益財団法人日本海事広報協会からの受託事業「船との出会い事業」と連携し、「公益財団法人日本海事センター補助事業」の助成金・補助金を受け、関係団体・事業者・学校・教育委員会などの協力を得て、各種船舶の乗船体験、船舶・港湾・造船所・倉庫・海洋博物館など海事産業関連施設の見学を行う体験型学習会「海の教室」を近畿運輸局との共催により実施しています。

乗船体験会及び海事産業関連施設見学会

月日	実施概要	実施場所	参加者	参加数	
5月9日	「サンタマリア号」乗船体験会	大阪府 大阪市	大阪市立豊崎本庄小学校 3年生(56名)と先生5名	61	名
5月18日	「サンタマリア号」乗船体験会	大阪府 大阪市	大阪市立豊崎本庄小学校 5年生(53名)と先生7名	60	名
5月19日	「サンタマリア号」乗船体験会	大阪府 大阪市	大阪市立鷺洲小学校3年生 (147名)と先生8名	155	名
5月24日	「サンタマリア号」乗船体験会	大阪府 大阪市	大阪市立磯路小学校1・2 年生(114名)と先生6名	120	名
6月16日	「サンタマリア号」乗船体験会	大阪府 大阪市	大阪市立三先小学校5年生 (66名)と先生5名	71	名

7月9日	「サンタマリア号」乗船体験会	大阪府 大阪市	大阪みなと海洋少年団	44	名
7月17日	「キッズボート」自己操縦乗船体験会	大阪府 泉佐野市	泉佐野市在住の小学4～6年生(41名)及び引率(12名)	53	名
8月2日	海技大学「海技丸」体験航海	芦屋市 (海大)	工業系高校生・教諭11名	11	名
10月6日	串本海中公園センターグラスボート乗船体験会&施設見学会	和歌山県 串本町	那智勝浦町立色川小学校 全校生徒 児童20名及び先生7名	27	名
10月6日	「サンタマリア号」乗船体験会	大阪府 大阪市	大阪市立市岡小学校2年生(54名)と先生5名	59	名
10月11日	「サンタマリア号」乗船体験会	大阪府 大阪市	大阪市立南市岡小学校3年生(56名)と先生5名	61	名
10月20日	「サンタマリア号」乗船体験会	大阪府 大阪市	大阪市立都島小学校3年生(46名)と先生5名	51	名
10月30日	串本湾内ジオクルーズ乗船体験会&施設見学会	和歌山県 串本町	串本町立橋杭小学校 児童13名(4,5年生)及び先生3名	16	名
11月2日	「紀の松島めぐり観光船」乗船体験会&施設見学会	和歌山県 那智勝浦町・ 太地町	串本町立田原小学校 1～6年生 児童18名及び先生7名	25	名
11月10日	施設見学会	和歌山県 那智勝浦町・ 太地町	新宮市立王子ヶ浜小学校 2年生 児童50名及び先生6名	56	名
実施回数			15回	計	870名

2、海の日キャンペーン・海の月間(公益目的事業区分8)

(1)「海の日」・「海の月間」関連行事広報事業

国民の祝日「海の日」を迎えるに当たり、国土交通省主唱の下、各地で実施される「海の月間」には、各関係機関のご支援並びに関係諸団体のご協力をいただきました。

大阪地区では「海の月間実行委員会」を感染拡大防止の観点から書面により開催し、各運輸支局・海事事務所所在地においても関係団体が連携し、青少年をはじめ広く一般市民の海の恩恵に対する関心を高め、海や海事産業の重要性を認識してもらうことを目的とした催しが行われました。

当協会は、公益財団法人日本海事広報協会からの受託事業である「海の日」・「海の月間」関連行事広報と連携し、近畿地区で行われる各種イベントについて令和5年「海の月間」行事案内を作成し当協会ホームページやフェイスブックに掲載するとともに、関係団体が開催する「海の日」・「海の月間」行事と連携して広報資料や海の日グッズを配布するなど、国民の祝日「海の日」(海の恩恵に感謝するとともに、海洋国日本の繁栄を願う日)の意義を理解してもらうための広報活動を行いました。

(2)「海の日」表彰候補者の推薦と「海の日」表彰式典・祝賀会

令和5年「海の日」にあたり、大阪では、7月20日(木)に海遊館ホールにおいて、近畿運輸局・大阪海上保安監部の主催による海事関係功労者表彰式典が開催されました。引き続き、海事産業の重要性を再認識するための啓発活動の一環として、各種関係団体のご協賛をいただき、当協会主催による「海の日祝賀会」をホテルシーガルてんぽーざん大阪において開催し、受賞者を中心に同伴家族・行政・報道・海事関係者の皆様方とともに、国民の祝日「海の日」をお祝いすることにより、海事産業の業務に精励してこられた方々への感謝を表すとともに、「海の日」の意義が広く一般市民に理解され定着することを願い海事広報活動を行いました。

また、舞鶴・和歌山・勝浦の運輸支局・海事事務所においても、それぞれ関係者のご出席をいただき海事関係功労者表彰式等が行われました。

当協会は、「海の日」表彰候補者の推薦について広く一般に周知するとともに、「海をきれいにするための一般協力者の奉仕活動表彰」の推薦と、海事関係事業の従事者として永年勤続された方々の「海事関係功労者表彰」候補者の推薦を行いました。

海事関係功労者表彰の栄に輝かれた方々は、いずれも多年にわたり海事関係の業務に従事され功績のあった方々であり、受賞者の内訳は、近畿運輸局関係では、国土交通大臣表彰6名、国土交通大臣(感謝状)1名、近畿運輸局長表彰59名、海上保安関係では、国土交通大臣(感謝状)4名、海上保安庁長官(感謝状)20名、第五管区海上保安本部長(感謝状)14名、大阪海上保安監部長(感謝状)3名、第八管区海上保安本部長(感謝状)3名の方々でした。

3、表彰、コンクール(公益目的事業区分14)

(1)第60回中学生海の絵画コンクール

わが国は、海からの恵みを受け、国民生活の安定向上と産業活動の維持発展の基盤を、海外貿易と海上輸送に依存する四面環海の国であり、海運・造船・船用工業・港湾・物流などの海事産業の働きは極めて重要です。

このため、次代を担う中学生から「海の絵画」を募集することにより、海事に関する関心を高め、海事知識を深めてもらうことを目的に、近畿運輸局、大阪海上保安監部、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会、(株)日本海事新聞社の後援を得て実施しました。

本年も近畿各地の中学校・絵画教室(約1,100校)及び関係先に募集チラシを配布し、船舶・港・海の生物・海や船で働く人・海の環境保全など海を自由に表現した絵画を募集したところ、40校・264点の応募がありました。

審査は、山中卓・平井洋子先生を中心に審査会を開催し、金賞1点(近畿運輸局長賞)・特別賞1点(大阪海上保安監部長賞)・銀賞2点(大阪府知事賞・大阪市長賞)・銅賞6点(近畿海事広報協会会長賞)・佳作30点(同)、計40点の受賞を決定し、受賞作品を当協会ホームページ・フェイスブック及び機関紙「近畿海事広報協会たより」に掲載するとともに、金賞・特別賞・銀賞・銅賞・佳作の受賞者に対する賞状・賞品と参加者への参加賞を各中学校に送付しました。

金賞(近畿運輸局長賞)には、日高町立日高中学校3年・中津 凜香さんの「大師丸」、特別賞(大阪海上保安監部長賞)には、泉佐野市立長南中学校3年・室田 花穂

理の「海をみつめるカメ」、銀賞(大阪府知事賞)には、泉佐野市立長南中学校 3 年・山田 朔也さんの「見つけた」、銀賞(大阪市長賞)には、大阪市立田島中学校 1 年・西口 純白さんの「夜明け」が受賞しました。

また、2016 年度より全国中学生絵画コンクール(主催:公益財団法人日本海事広報協会)と統合された、第 51 回「我ら海の子展」(主催:一般財団法人サークルクラブ協会・公益社団法人日本海洋少年団連盟)中学生の部に、全ての応募作品を団体として応募しました。

「我ら海の子展」の東京で行われた審査会において、残念ながら、当協会からの受賞、入選者はございませんでした。

(2) 第 57 回中学生海の作文コンクール

中学生海の絵画コンクールと同様に、次代を担う中学生に海や船に対する関心を深めてもらうため、近畿運輸局、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会、(株)日本海事新聞社の後援を得て、本年も近畿各地の中学校約 1,100 校及び関係先に募集チラシを配布し、海や船などを題材とする作文を募集したところ、11 校 78 点の応募がありました。

審査を高田文月先生(大阪文学学校講師)にお願いし、金賞(近畿運輸局長賞)は該当者なし、銀賞1点(近畿海事広報協会会長賞)、銅賞3点(同)、佳作9点(同)といたしました。

銀賞は、大阪市立長吉六反中学校 3 年・松井 菜奈さんの「釣りからごみ問題を考える」、が受賞しました。

受賞作品については、当協会機関紙「近畿海事広報協会たより」に掲載するとともに、全受賞作品を当協会ホームページ及びフェイスブックで公表し、受賞者に対する賞状・副賞を各中学校に送付しました。

(3) 第 45 回海の写真コンクール

「海の日」「海の月間」関連行事の一つとして、海・船・港・海運・造船等の海事産業への関心を深め、海事知識の啓発・向上を図るため、湖・川・魚などを含め広く海に係るテーマの写真を、地域・年齢などは問わず全国から募集しました。

この事業は、近畿運輸局、大阪海上保安監部、大阪府、大阪市、大阪商工会議所、(公財)関西・大阪21世紀協会、(株)海遊館、(一社)日本長距離フェリー協会、(一社)日本海事代理士会、(株)日本海事新聞社、(株)海事プレス社の後援のもと、(公財)海上保安協会大阪支部、(一社)大阪府港湾協会、(公社)大阪港振興協会、大阪写真組合、近畿旅客船協会の協賛と、大阪水上バス(株)、近江トラベル(株)、(株)サンスターライン、四国開発フェリー(株)、新日本海フェリー(株)、太平洋フェリー(株)、南海フェリー(株)、阪九フェリー(株)、琵琶湖汽船(株)、(株)商船三井さんふらわあ、宮崎カーフェリー(株)、(株)名門大洋フェリーの各船社からの協力を得て実施しました。

本年もホームページでの広報や関係先への募集チラシの配布により、海をテーマとした写真を募集したところ、全国各地より 150 名、583 点の応募があり、塚田澄子先生(全日本写真連盟関西本部委員)を中心に後援団体の代表者を交えた審査員による審査会を開催し、推薦1点・特選2点・特別賞2点・準特選6点・入選29点、計40点の受賞を決定しました。

推薦(近畿運輸局長賞)は出水 幸恵さん(大阪府)の「百花繚乱～鮮やかに舞う」、

特選の(大阪府知事賞)は西本 親志さん(大阪府)の「赤のリフレクション」、(大阪市長賞)は松村 光祥さん(大阪府)の「名船終航 天保山名残の宵」、が受賞しました。

全ての受賞作品を当協会の機関紙「近畿海事広報協会たより」に掲載するとともに当協会ホームページとフェイスブックで公表しました。

また、一般財団法人日本モーターボート競走会からの受託事業である「ボートレース場等を活用したイベント」として、ボートレース場・ボートピアにおいて「第45回海の写真コンクール受賞作品展」を次のとおり開催しました。

1. 「住之江ボートレース場」
実施時期 令和5年10月1日(日)～11月15日(水)
入場者数 ファン入場者 79,514人(昨年127,451人)
2. 「びわこボートレース場」
実施時期 令和5年10月1日(日)～11月15日(水)
入場者数 ファン入場者 23,329人(昨年31,551人)
3. 「ボートピア梅田」
実施時期 令和5年10月1日(日)～11月15日(水)
入場者数 ファン入場者 167,184人(昨年20,505人)
4. 「ボートピア京都やわた」
実施時期 令和5年10月1日(日)～11月15日(水)
入場者数 ファン入場者 29,037人(昨年32,502人)

4、上記の事業区分に該当しない事業(公益目的事業区分18)

(1)海事知識の普及事業

一般財団法人日本モーターボート競走会からの受託事業として、「海の日」・「海の月間」関連行事やボートレース場等で行われているイベント会場において、小中学生を中心とした児童向けの海事知識普及のための資料や海の日グッズなどの配布を行なうことにより、海事知識の普及事業を実施しました。

1. 海の月間にあわせた海事知識の普及事業
実施時期 令和5年7月1日(土)～31日(金)
実施場所 大阪府大阪市「住之江ボートレース場」
参加者数 ファン入場者 68,186人(昨年59,271人)
2. びわこ少年少女ゴムボート大会2023における海事知識の普及事業
実施時期 令和5年7月17日(月)
実施場所 滋賀県大津市「びわこボートレース場」
参加者数 来場者数4,201人
3. ボートピア京都やわた秋祭りでの海事知識の普及事業
八幡市自治連合会の協力のもと子供連れのご家族に海事広報グッズの配布提供を行いました。
実施時期 令和5年11月5日(日)
実施場所 京都府八幡市「ボートピア京都やわた」

4. 2023 住之江フェスティバルにおける海事知識の普及事業

近畿運輸局とともに「海事広報ブース」を出展し、「船長服の着用体験・記念写真撮影」、「記念写真の缶バッジ作成・配布」、「海事広報パネルの展示及び海事広報グッズ等の配布」を行いました。

実施時期 令和5年10月22日(日)

実施場所 大阪府大阪市「住之江ポートレース場」

参加者数 来場者数約2,000人(ブース来訪者数 約400人)

5. 「いろいろな川の船データパネル展」の実施による海事知識の普及事業

川の駅「はちけんや」において、ファミリー層を対象に子どもたちにも楽しく「海事」について学んでもらうため、水上で見られるいろいろな船のデータパネルを実施し、海事知識普及資料・グッズの配布を行いました。

実施時期 令和5年6月9日(金)~令和5年9月4日(月)

実施場所 大阪府大阪市「川の駅「はちけんや」」

参加者数 来館者数 6月6,503人 7月39,652人 8月6,746人
9月6,903人

6 出前講座等による海事知識の普及事業

近畿運輸局、近畿内航船員対策協議会とともに出前講座を実施、講師から「海運」の役割などの説明を実施し、あわせて、海事知識普及資料・グッズの配布を行いました。

実施時期 令和5年11月28日(火)

実施場所 守口市立樟風中学校

参加者数 中学2年生20人

実施時期 令和6年3月9日(土)

実施場所 南海フェリー「あい」「かつらぎ」船内

参加者数 一般公募39人

実施時期 令和6年3月18日(月)

実施場所 大阪市立築港中学校

参加者数 中学1年生20人

II、その他事業(相互扶助等の事業)

1、他団体との連携事業と海事広報宣伝物等の発行・配布

(1)他団体との連携事業

昨年度に引き続き、海事関係の各種団体と積極的に連携し、次の行事の共催・協賛・後援等を行ないました。

1. 大阪港港湾功労者表彰式における被表彰者の推薦(今年度は該当者なし)
2. 海の日海上安全祈願祭(大阪船主会・(公財)海上保安協会大阪支部)共催
3. 令和5年度「海の日」記念行事(和歌山港振興協会花火大会)の協賛
4. 天神祭渡御行事保存の協賛
5. 港住吉神社夏祭実行委員会への協力

6. 第 47 回マリンスクール((株)串本海中公園センター)の後援
7. 第 69 回大阪地方海事団体硬式庭球大会(大阪地方海事団体硬式庭球大会運営委員会)の後援
8. 令和 5 年度「白浜第一小学校・第二小学校 5 年生への出前授業」(全日本海員組合大阪支部)の後援
9. 新年海上安全祈願祭(大阪船主会・(公財)海上保安協会大阪支部)の共催

(2)会議等

1. 令和 5 年 4 月 10 日(月) 於:大阪勤労福祉会館
「新規採用者研修会」主催(公社)大阪港振興協会
2. 令和 5 年 4 月 20 日(木) 於:大阪市 第一大阪港ビル
大阪港振興倶楽部午餐会
3. 令和 5 年 5 月 29 日(月) 於:大阪市 第一大阪港ビル
(公社)大阪港振興協会令和 5 年度第 1 回理事会
4. 令和 5 年 5 月 30 日(月) 於:大阪市 日本船舶職員養成協会近畿会議室
(一財)日本船舶職員養成協会近畿第 12 回評議員会
5. 令和 5 年 5 月 31 日(水) 於:大阪市 近畿運輸局
近畿若年内航船員確保推進協議会令和 5 年度協議会
6. 令和 5 年 6 月 14 日(水) 於:大阪市 大阪港湾合同庁舎
令和 5 年度大阪地区海難防止強調運動推進連絡会議
7. 令和 5 年 6 月 15 日(木) 於:大阪市 第一大阪港ビル
大阪港振興倶楽部午餐会
8. 令和 5 年 6 月 22 日(木) 於:大阪市 近畿運輸局
第 60 回中学生海の絵画コンクール審査会
9. 令和 5 年 6 月 27 日(火) 於:大阪市 第一大阪港ビル
(公社)大阪港振興協会令和 5 年度定時総会
10. 令和 5 年 6 月 29 日(木) 於:大阪市 近畿運輸局
第 45 回海の写真コンクール審査会
11. 令和 5 年 7 月 13 日(木) 於:大阪市 近畿運輸局
「海事関係功労者表彰式典・海の日祝賀会」打ち合わせ会
12. 令和 5 年 7 月 18 日(火) 於:大阪市 住吉大社
令和 5 年「海の日」海上安全祈願祭
13. 令和 5 年 7 月 20 日(木) 於:大阪市 海遊館ホール・ホテルシーガルてんぽーざん大阪
令和 5 年海事関係功労者表彰式典・「海の日」祝賀会
14. 令和 5 年 8 月 22 日(火) 於:大阪市 当協会事務所 Zoom 会議
令和 5 年度事業等について日本海事広報協会との意見交換会
15. 令和 5 年 10 月 24 日(火) 於:大阪市 築港高野山釈迦院
第 48 回大阪港湾労働殉職者合同慰霊祭
16. 令和 5 年 12 月 6 日(水) 於:大阪市 大阪歴史博物館
(公財)関西交通経済研究センター第 19 回サロンセミナー物流の 2024 年問題
17. 令和 5 年 12 月 8 日(金) 於:大阪市 第一大阪港ビル
「内航海運・フェリー業界の現状と課題 2023 年度版」発行記念講演会
18. 令和 6 年 1 月 11 日(木) 於:大阪市 第一大阪港ビル

大阪港振興倶楽部「新年祝賀交歓会」

19. 令和6年1月12日(金) 於:大阪市 近畿運輸局
永田会長 近畿運輸局局長及び次長等へ新年挨拶
20. 令和6年1月22日(月) 於:大阪市 住吉大社
令和6年新年海上安全祈願祭
21. 令和6年2月1日(木) 於:東京都 海事センタービル
令和5年度全国海事広報協会事務局長会議
22. 令和6年2月6日(火) 於:大阪市 徐園
令和5年度大阪海事運輸連絡会
23. 令和6年2月8日(木) 於:大阪市 大阪電気倶楽部
「旅客船の総合的な安全・安心対策セミナー」主催 近畿運輸局
24. 令和6年2月9日(金) 於:大阪市 第一大阪港ビル
「港まちづくりセミナー」主催 大阪市港区役所
25. 令和6年2月14日(水) 於:大阪市 ドーンセンター
「海上運送法等の改正に伴う実務研修会及び事務連絡会」主催 海事代理士会
26. 令和6年2月22日(木) 於:大阪市 第一大阪港ビル
「2024年世界と日本を読み解く」主催 大阪港振興協会
27. 令和6年2月28日(水) 於:大阪市 大阪商工会議所
「第1回情報・通信部会」主催 大阪商工会議所
28. 令和6年3月1日(金) 於:大阪市 第一大阪港ビル
大阪港振興倶楽部令和6年度通常総会
29. 令和6年3月6日(水) 於:大阪市 近畿運輸局
令和6年大阪地区「海の月間実行委員会」
30. 令和6年3月13日(水) 於:大阪市 第一大阪港ビル
(公社)大阪港振興協会令和5年度第4回理事会
31. 令和6年3月28日(木) 於:大阪市 TKP ガーデンシティ PREMIUM 大阪梅田新道
大阪港湾局「大阪みなとセミナー」

(3) 海事広報宣伝物等の発行・配布

海洋環境について理解を深め、海や海事産業に親しみを深めてもらうため、(公財)日本海事広報協会をはじめとする海事関係団体等で作成された冊子・パンフレットなどの海事知識普及資料や海の日グッズ等を各種イベント参加者に配布しました。

主な海事広報宣伝物等の発行・配布は次のとおりです。

1. 近畿海事広報協会たより(1月・7月の年2回発行)
2. 海上の友(毎月1回配布)
3. 日本の海運 SHIPPING NOW2022-2023(中学校等へ配布)
4. 海の日グッズ等(各種イベント等で作成・配布)
5. 2024 世界の帆船カレンダー(会員・関係者へ作成・配布)

Ⅲ、庶務事項

(1) 総会

令和5年5月15日(月) 於:大阪市 ホテルプリムローズ大阪

1. 令和4年度事業報告及び決算の承認に関する件
2. 役員の一部改選に関する件

(普通会員総数 206 名中、書面による議決権行使 66 名、代理人出席含め出席 98 名で開催した。)

(2)理事会

① 令和5年4月17日(月)【書面による理事・監事全員の同意】

1. 令和4年度事業報告及び決算の承認に関する件
2. 令和5年度通常総会招集の承認に関する件

② 令和5年5月15日(月) 於:大阪市 ホテルプリムローズ大阪

1. 副会長及び専務理事の選定に関する件
副会長に梯浩之氏を、専務理事に角谷敬二郎氏を選定
2. 顧問等委嘱の承認に関する件
顧問等の人事異動に伴い、大阪府都市ポートレース企業団事務局長光永建治様及び滋賀県びわこポートレース局長 中野真吾様を参与に委嘱することを承認
3. 報告事項:代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告

③ 令和5年7月11日(火)【書面による理事・監事全員の同意】

1. 会長(代表理事)交代(永田昭仁氏を会長(代表理事)選定)に関する件
2. 会員資格取得(楠本浩一様入会)の承認に関する件

④ 令和6年3月4日(月) 於:大阪市 第一大阪港ビル 8階会議室

1. 令和6年度事業計画(案)及び収支予算(案)の承認に関する件
2. 会員資格取得(入会)の承認に関する件
第一工流(株)様(令和5年8月30日入会申込)を承認
3. 顧問等委嘱の承認に関する件
大阪府都市ポートレース企業団事務局長 光永建治様のご後任に谷賢一様のご就任されたことによる参与の委嘱承認
4. 報告事項:代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告

(3)監査

1. 令和5年4月7・10日(金・月) 於:大阪市 当協会事務所
当協会監事による令和4年度事業並びに収支状況の監査

(4)その他

① 内閣府申請事項

1. 令和5年4月26日 変更届出書(役員の一部改選)
2. 令和5年5月22日 事業報告等に係る提出書(令和4年度)
3. 令和5年5月22日 変更届出書(役員の一部改選に伴う変更)
4. 令和5年7月26日 変更届出書(代表理事の変更)
5. 令和5年10月10日 変更届出書(役員の一部改選)

6. 令和6年3月5日 事業計画書等に係る提出書(令和6年度)

② 大阪法務局法人登記事項

1. 令和5年4月13日 変更登記申請書(理事の変更)
2. 令和5年5月17日 変更登記申請書(理事、代表理事、監事の変更)
3. 令和5年7月12日 変更登記申請書(理事、代表理事の変更)
4. 令和5年9月22日 変更登記申請書(理事の変更)

令和5年度 決算報告書

自 令和5年4月 1日

至 令和6年3月31日

公益社団法人 近畿海事広報協会

令和5年度 決算報告書

公益社団法人 近畿海事広報協会

(1) 貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度(A)	前年度(B)	増 減(A-B)
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	3,854,875	3,927,728	-72,853
前払金	129,900	129,900	0
未収金	0	0	0
立替金	100,000	100,000	0
流動資産合計	4,084,775	4,157,628	-72,853
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
事業特別積立資産	5,000,000	5,000,000	0
(2) その他固定資産			
事務所契約敷金	362,550	362,550	0
固定資産合計	5,362,550	5,362,550	0
資産合計	9,447,325	9,520,178	-72,853
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	111,432	226,600	-115,168
前受金	110,000	100,000	10,000
預り金	76,016	60,712	15,304
流動負債合計	297,448	387,312	-89,864
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	297,448	387,312	-89,864
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産	9,149,877	9,132,866	17,011
(うち特定資産への充当額)	(5,000,000)	(5,000,000)	(0)
正味財産合計	9,149,877	9,132,866	17,011
負債及び正味財産合計	9,447,325	9,520,178	-72,853

(注) 「公益法人会計基準」の運用方針(平成20年4月11日、改正平成21年10月16日、内閣府公益認定等委員会)を適用して作成している。

(2) 正味財産増減計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度(A)	前年度(B)	増減(A-B)	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
特定資産運用益	90	90	0	
特定資産受取利息	90	90	0	
受取会費	8,289,340	8,290,000	-660	
普通会員	8,039,340	8,040,000	-660	
その他の会員	250,000	250,000	0	特別会員、賛助会員
事業収益	6,090,000	6,123,000	-33,000	
受託事業収益	4,610,000	4,393,000	217,000	日本海事広報協会 日本モーターボート競走会
協賛金収益	1,480,000	1,730,000	-250,000	海の日祝賀会等
受取負担金	126,530	0	126,530	
受取負担金	126,530	0	126,530	
受取寄付金	0	0	0	
受取寄付金	0	0	0	
雑収益	47,886	37,892	9,994	
受取利息	38	44	-6	
雑収益	47,848	37,848	10,000	日本海事広報協会等
経常収益計	14,553,846	14,450,982	102,864	
(2) 経常費用				
事業費	12,071,293	12,182,332	-111,039	
制作費	153,000	133,000	20,000	海の月間関係
イベント開催費	1,113,100	1,234,389	-121,289	海の日祝賀会等
広報宣伝物費	1,069,006	1,229,159	-160,153	海事広報資料作成・購入
表彰費	285,105	365,440	-80,335	各種コンクール関係
給料手当	2,800,000	2,800,000	0	
事務局嘱託料(給料手当)	1,320,000	1,200,000	120,000	
臨時雇賃金	809,750	860,500	-50,750	
福利厚生費	618,800	476,416	142,384	
会議費	67,134	25,112	42,022	
旅費交通費	201,968	384,760	-182,792	通勤費を含む
通信運搬費	453,355	514,748	-61,393	
消耗品費	140,807	282,704	-141,897	
印刷製本費	648,007	661,925	-13,918	
賃借料	1,127,560	815,072	312,488	船賃・バス・借室料等
事務管理費(賃借料)	680,000	685,000	-5,000	借室料等
保険料	90,044	58,208	31,836	
諸謝金	210,000	210,000	0	審査料等
支払負担金	42,000	63,000	-21,000	共催行事等
支払助成金	218,000	120,000	98,000	各地区海の月間行事等
雑費	23,657	62,899	-39,242	

科 目	当年度(A)	前年度(B)	増減(A-B)	備 考
管理費	2,465,542	2,163,755	301,787	
給料手当	700,000	700,000	0	
臨時雇賃金	265,500	293,750	-28,250	
福利厚生費	154,701	119,104	35,597	
会議費	522,115	303,102	219,013	総会・理事会等
旅費交通費	27,512	75,990	-48,478	通勤費等
通信運搬費	357,073	191,887	165,186	
消耗品費	30,378	102,525	-72,147	
印刷製本費	106,019	91,365	14,654	
賃借料	140,120	124,528	15,592	借室料・共益費等
支払負担金	130,000	130,000	0	各種会費等
雑費	32,124	31,504	620	
経常費用計	14,536,835	14,346,087	190,748	
当期経常増減額	17,011	104,895	-87,884	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	
経常外収益計				
(2) 経常外費用	0	0	0	
経常外費用計				
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	17,011	104,895	-87,884	
一般正味財産期首残高	9,132,866	9,027,971	104,895	
一般正味財産期末残高	9,149,877	9,132,866	17,011	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	9,149,877	9,132,866	17,011	

(注) 「公益法人会計基準」の運用方針(平成20年4月11日、改正平成21年10月16日、内閣府公益認定等委員会)を適用して作成している。

(3) 正味財産増減計算書内訳表
令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

科目	公益目的事業会計								相互扶助等事業会計			法人会計	合計	
	海の教室	海の月間	海の表彰	海の絵画	海の作文	海の写真	海事知識	公・共通	小計	団体連携	他・共通			小計
I 一般正味財産増減の部														
1. 経常増減の部														
(1) 経常収益														
特定資産運用益								90	90			0	0	90
特定資産受取利息								90	90					90
受取会費								4,269,670	4,269,670	1,205,901	1,205,901	2,813,769	2,813,769	8,289,340
普通会员								4,019,670	4,019,670	1,205,901	1,205,901	2,813,769	2,813,769	8,039,340
その他の会員								250,000	250,000					250,000
事業収益	2,000,000	200,000	1,360,000	0	0	1,270,000	1,260,000	0	6,090,000	0	0	0	0	6,090,000
受託事業収益	2,000,000	200,000	0			1,150,000	1,260,000		4,610,000					4,610,000
協賛金収益			1,360,000			120,000			1,480,000					1,480,000
受取負担金	0						126,530	0	126,530	0	0	0	0	126,530
受取負担金	0						126,530		126,530					126,530
雑収益								38	38		47,848	47,848	0	47,886
受取利息								38	38					38
雑収益									0		47,848	47,848		47,848
経常収益計	2,000,000	200,000	1,360,000	0	0	1,270,000	1,386,530	4,269,798	10,486,328	0	1,253,749	1,253,749	2,813,769	14,553,846
(2) 経常費用														
事業費	2,156,603	200,340	1,164,809	457,142	313,117	991,455	1,463,156	4,220,297	10,966,919	796,264	308,110	1,104,374		12,071,293
制作費		153,000							153,000			0		153,000
イベント開催費			1,073,100						1,073,100	40,000		40,000		1,113,100
広報宣伝物費							796,220		796,220	272,786		272,786		1,069,006
表彰費				67,000	20,000	198,105			285,105			0		285,105
給料手当								2,800,000	2,800,000			0		2,800,000
事務局嘱託料(給料手当)	1,320,000								1,320,000			0		1,320,000
臨時雇賃金	72,000	24,000	16,000	177,750	127,000	279,000	0	8,000	703,750	106,000		106,000		809,750
福利厚生費								618,800	618,800			0		618,800
会議費	26,369	0	11,400	5,698		10,476	10,260		64,203	2,931		2,931		67,134
旅費交通費	32,820	1,740	1,690			0	55,670	110,048	201,968			0		201,968
通信運搬費	60,912	1,600	22,285	71,794	51,087	61,420	40,865		309,963	143,392		143,392		453,355
消耗品費			10,004	220		9,074		121,509	140,807			0		140,807
印刷製本費	137,632		0	64,680	54,700	82,885			339,897		308,110	308,110		648,007
賃借料	352,840		0				214,240	560,480	1,127,560			0		1,127,560
事務管理費(賃借料)	60,000	20,000				300,000	300,000	0	680,000			0		680,000
保険料	83,670						6,374		90,044			0		90,044
諸謝金			30,000	70,000	60,000	50,000			210,000			0		210,000
支払負担金								0	0	42,000		42,000		42,000
支払助成金							30,000	0	30,000	188,000		188,000		218,000
雑費	10,360		330		330	495	9,527	1,460	22,502	1,155		1,155		23,657

科 目	公益目的事業会計									相互扶助等事業会計			法人会計	合 計
	海の教室	海の月間	海の表彰	海の絵画	海の作文	海の写真	海事知識	公・共通	小 計	団体連携	他・共通	小 計		
管理費													2,465,542	2,465,542
給料手当													700,000	700,000
臨時雇賃金													265,500	265,500
福利厚生費													154,701	154,701
会議費													522,115	522,115
旅費交通費													27,512	27,512
通信運搬費													357,073	357,073
消耗品費													30,378	30,378
印刷製本費													106,019	106,019
賃借料													140,120	140,120
支払負担金													130,000	130,000
雑費													32,124	32,124
経常費用計	2,156,603	200,340	1,164,809	457,142	313,117	991,455	1,463,156	4,220,297	10,966,919	796,264	308,110	1,104,374	2,465,542	14,536,835
当期経常増減額	-156,603	-340	195,191	-457,142	-313,117	278,545	-76,626	49,501	-480,591	-796,264	945,639	149,375	348,227	17,011
2. 経常外増減の部														
(1) 経常外収益														
経常外収益計														
(2) 経常外費用														
経常外費用計														
当期経常外増減額														
他会計振替額								74,688	74,688		-74,688	-74,688		0
当期一般正味財産増減額	-156,603	-340	195,191	-457,142	-313,117	278,545	-76,626	124,189	-405,903	-796,264	870,951	74,687	348,227	17,011
一般正味財産期首残高														9,132,866
一般正味財産期末残高														9,149,877
II 指定正味財産増減の部														
当期指定正味財産増減額														
指定正味財産期首残高														
指定正味財産期末残高														
III 正味財産期末残高														9,149,877

- (注) 1、「公益法人会計基準」の運用方針(平成20年4月11日、改正平成21年10月16日、内閣府公益認定等委員会)を適用して作成している。
2、経常収益のうち、受取会費(普通会員)は、公益目的事業会計に50%、相互扶助等事業会計に15%、法人会計に35%を按分している。
3、管理費のうち、給料手当・福利厚生費・旅費交通費・消耗品費・賃借料の80%を公益目的事業に按分している。
4、他会計振替額は、相互扶助等事業会計・当期経常増減額(増額の場合のみ)の50%を公益目的事業会計に振り替えている。

(4) 財務諸表に対する注記

令和6年3月31日現在

1. 重要な会計方針

「公益法人会計基準」(平成20年4月11日、改正平成21年10月16日、内閣府公益認定等委員会)を適用している。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
事業特別積立資産	5,000,000	0	0	5,000,000
合計	5,000,000	0	0	5,000,000

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの 充当額)	(うち一般正味財産からの 充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
事業特別積立資産	5,000,000	(0)	(5,000,000)	
合計	5,000,000	(0)	(5,000,000)	(0)

(5) 附属明細書

1. 特定資産の明細

特定資産の明細については、財務諸表に対する注記に記載しているので、省略した。

(6) 財 産 目 録

令和6年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)			
現金	手元保管	運転資金として	24,370
預金	普通預金 三井住友銀行	運転資金として	1,103,081
	普通預金 みずほ銀行	運転資金として	2,078,477
前払金	当座預金 ゆうちょ銀行	運転資金として	648,947
		4月分借室料等 ¥101,850、4.5.6月分海 事新聞¥28,050	129,900
未収金			0
立替金		4月分借室料等(船災防 ¥60,000、小船工 ¥20,000、海保協 ¥20,000)	100,000
流動資産合計			4,084,775
(固定資産)			
特定資産			
事業特別積立資産	定期預金 三井住友銀行	事業用財産として管理し ているもの	5,000,000
その他固定資産			
事務所契約敷金	大阪港振興(株)	敷金544,550円の約3分 の2を負担している	362,550
固定資産合計			5,362,550
資産合計			9,447,325
(流動負債)			
未払金 前受金	社会保険料・通信費 事務局囑託料	日本海事広報協会3月分	111,432
			110,000
預り金	雇用保険料 源泉所得税 社会保険料	従業員から預かったもの 従業員から預かったもの	21,584
			54,432
流動負債合計			297,448
(固定負債)			
			0
固定負債合計			0
負債合計			297,448
正味財産			9,149,877

(注)「公益法人会計基準」の運用方針(平成20年4月11日、改正平成21年10月16日、内閣府公益認定等委員会)を適用して作成している。

監 査 報 告 書

公益社団法人 近畿海事広報協会

会長 永田 昭仁 殿

令和5年度の業務及び財産の状況について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第99条第1項の規定に基づき下記のとおり報告します。

記

1、業務状況の監査結果

事業報告書は、法令及び定款に従い、当協会の事業の状況を正しく示していると認めます。

また、理事の業務執行について、不正の行為や法令及び定款に違反する事実は認められませんでした。

2、財産状況の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、当協会の財産及び損益の状況を適正に示していると認めます。

令和6年4月8日

公益社団法人 近畿海事広報協会

監 事 中村 勇

Ⓔ

令和6年4月9日

公益社団法人 近畿海事広報協会

監 事 角高 憲治

Ⓔ